

文化祭に向けて 各学年の様子



1年生 学年弁論大会



2年生 学年弁論大会



3年生 合唱コンクールの練習

各学年では、文化祭に向けて様々な取組が進められています。夏休みの課題であった弁論文をもとに学級弁論大会、そして学年弁論大会が開催され、文化祭での発表者が決まりました。先週末からは合唱コンクールの練習が始まっています。

学年部や文化祭実行委員会、それぞれの担当で組織的・計画的に取組が進められ、子どもたちは人前に立ったり、役割を与えられたりして、また一つ、成長ができる機会を得ています。運動会に向けた取組の時もそうでしたが、本校の先生方は「生徒の個性を引き出したり、自分をオープンにさせたり、取組に対する本気度を上げたりする」のが本当に上手だなあと感心させられています。来週の本番まで、合唱練習や各部門の発表練習など、よろしくお願いします。

教科主任会より

～ 授業改善への取組 ～

先日の教科主任会では、教科主任から見た授業における課題や今後の改善事項について共有を行いました。教科主任の先生方には、9月17日～9月30日までの間に教科メンバーの授業を可能な範囲で参観していただくこと、そして、なるべく同一単元、同一時間の授業を参観していただけるよう依頼していました。



- A 各教科の課題や今後の改善事項 (9/17～9/30の授業参観より)**
- 国語：
 - ・「めあて」を子どもと共に考えて立てる（引き出す）。
 - ・グループ活動の効果的な活用。
 - ・思考の流れが分かる板書。
 - 社会：
 - ・本時にやるべきことを明確にしなければ教師主導や生徒とのズレにつながる。
 - ・「ゴール」（「今日の授業の方向性」、「できる/わかること」）につながる見通しがもてる「めあて」にする。（それが主体性にもつながる。）
 - 数学：
 - ・生徒主体の授業になるための深い教材理解。
 - ・生徒の思考の助けになる発問の工夫。
 - 理科：
 - ・本時のやりたいことと問題が合っていない（「めあて」は合っている）。
 - ・やることが焦点化されていない。
 - 体育：
 - ・クラスの雰囲気により、活発なところとそうでないところの差が大きい。
 - ・意見を言葉にして伝えることに課題が見られる。
 - 英語：
 - ・「目的・場面・状況」が生徒の中に明確にあり続けていないため、見方・考え方が働ききっていない。
 - ・「問題」「めあて」「まとめ」や授業の流れは単元計画で統一しているが、みんなそれぞれになっている。
 - ・教師主導になっている面もある。

- B 教科共通の改善の視点 (1学期の研究授業から見えてきた改善を図るべき視点)**
- ① 本時の「まとめ」につながる「めあて」であった。
 - ② 教師のねらいと子どもたちの学びにズレがなかった。

教科内授業参観週間

各教科で授業改善についての検討

上のAについて、各教科会で確認し、Bの視点と併せて「どのように授業改善を図るのか」についての検討を行う。

各教科で検証・評価

10月第1週～第2週で代表者の授業を参観し、取組の検証や評価を行う。
*授業参観シート活用
*研究主任提示の事後協議用シート活用

全教科で改善の方向性の確認

校内研修で方向性を確認する。

